



CSV インポート手順書

Ver3.0.0

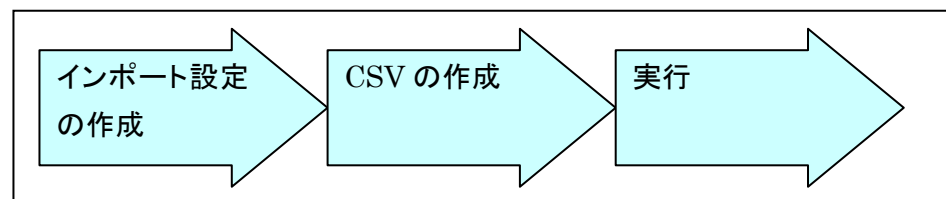


1 インポートの概要

Easy Sales は顧客情報、案件情報、商材情報などを、CSV 形式でインポートすることが出来ます。

本手順書は、CSV 形式のファイルを利用したインポートの手順をご案内いたします。

1.1 大まかな流れ



上記 3 点が大まかな流れとなります。

なお、一度作成したインポート設定は削除されず、次回からは流用してご利用いただけます。

また、インポート件数の上限について。通常 CSV インポートレコードの上限は **100件** に設定されています。

弊社サポート担当にご相談いただければ、一時的にインポートの上限をアップさせることが可能です。なお、アップ出来る上限は **3000件** までとさせていただきます。

2 インポート設定～実行まで

本章ではインポート設定の作成手順をご説明いたします。インポート設定は下記より設定いただけます。

「マスタ設定」→「インポート設定」→「インポートの実行と管理」



[+ インポートの新規追加](#)

をクリックいただくと、インポートの設定画面が表示されます。

2.1 ◆インポートの設定(全体設定)

インポートの追加	
インポートの追加を行います。	
A インポート名(必須)	<input type="text"/>
B インポート種別(必須)	企業+事業所・部署
C データ形式(必須)	<input checked="" type="radio"/> CSV <input type="radio"/> メール
D 登録方法(必須)	<input checked="" type="radio"/> 新規登録 <input type="radio"/> 更新のみ <input type="radio"/> 更新+新規登録
E 読み込み開始位置(必須)	1行目
レポートメール送信先	<input type="checkbox"/> 設定者 <input type="checkbox"/> 実行者

A・インポート名：インポート設定の名称を入力します。

B・インポート種別：インポートを行いたいマスタを選択します

※1 詳細は[こちら](#)

C・データ形式：インポートを行うデータの形式を選択します

(今マニュアルはCSVのご説明です)

D・登録方法：インポートの方式を選択します ※3 詳細は[こちら](#)

E・読み込み開始位置：インポートデータの読み込み開始行を指定ください。

※4 詳細は[こちら](#)

A～Eを指定し、[確定](#)をクリックすると、インポート設定の作成ができます。

2.1 インポートの設定(項目設定)

確定

をクリックしていただくと、下図のような画面が表示されますので、項目設定の編集画面へ進み、読み込む CSV の「何列目」にインポートしたいデータがあるか指定してください。

インポートを登録しました。

インポート設定

インポート名	サンプルの設定
インポート種別	企業+事業所・部署
データ形式	CSV
登録方法	新規登録
読み込み開始位置	1 行目
レポートメール送信先	
設定者	ラクス太郎

項目設定

企業情報

項目名	列番号
企業コード	-
ステータス	-
企業名	-
代表者	-
従業員数	-
資本金	-
ホームページ	-
業種	-
会社概要・特色	-

※本画面はインポート種別が【企業+事業所・部署】の場合です

インポート設定

インポート名	サンプルの設定
インポート種別	企業+事業所・部署
データ形式	CSV
登録方法	新規登録
読み込み開始位置	1 行目
レポートメール送信先	
設定者	ラクス太郎

項目設定


企業情報


項目名	列番号
企業コード	-
ステータス	-
企業名	-
代表者	-
従業員数	-
資本金	-
ホームページ	-
業種	-
会社概要・特色	-

事業所・部署情報

項目名	列番号
事業所・部署コード	-
所属企業	-
ステータス	-
事業所・部署名	-
郵便番号	-
都道府県	-
所在地	-
Webマップリンク	-
事業所電話番号	-
事業所FAX番号	-



 ボタンをクリックして設定を進めます。

 ボタンをクリックすると、次の画面が表示されます。

※CSV による列番号の入力機能は[こちら](#)

項目名	項目タイプ	列番号
企業コード(必須)	テキスト(1行) (ビルトイン項目) <input type="checkbox"/>	※自動採番(代替キー)を使用しているので、指定できません。
企業名(必須)	テキスト(1行) (ビルトイン項目) <input type="checkbox"/>	<input type="text"/> 列目 ※インポート時に必須
代表者	テキスト(1行) <input type="checkbox"/>	<input type="text"/> 列目
従業員数	整数 <input type="checkbox"/>	<input type="text"/> 列目
資本金	整数 <input type="checkbox"/>	<input type="text"/> 列目
ホームページ	URL <input type="checkbox"/>	<input type="text"/> 列目

インポートを行いたい CSV の「何列目」にデータがあるかをご入力ください。
 ※アルファベットでの入力も可(A 列 B 列 という入力方法)
 ※インポートを行いたくない項目は空欄のままで構いません。(必須は除く)

「何列目か」をご入力後、 をクリックすると、インポートの設定の作成が完了します。

◆入力例

CSV の 1 列目(A 列)

項目名	項目タイプ	列番号
企業コード(必須)	テキスト(1行) (ビルトイン項目) <input type="checkbox"/>	※自動採番(代替キー)を使用しているので、指定できません。
企業名(必須)	テキスト(1行) (ビルトイン項目) <input type="checkbox"/>	<input type="text"/> 1 列目 ※インポート時に必須
従業員数	整数 <input type="checkbox"/>	<input type="text"/> 2 列目
資本金	整数 <input type="checkbox"/>	<input type="text"/> 3 列目
ホームページ	URL <input type="checkbox"/>	<input type="text"/> 4 列目

CSV の 2 列目(B 列)

	A	B	C	D
1	企業名	従業員数	資本金	ホームページ
2	株式会社アイティーブースト	152	149,850	http://www.easysa
3	株式会社飯田ネットワーク	165	16,500	http://www.easysa
4	有限会社YKAカンパニー	190	19,000	http://www.easysa

以上でインポートの設定は完了です。

2.2 インポートの実行

用意したCSVデータと、新しく登録を行ったインポート設定を使用して、Easy Sales のマスタにインポートを実行します。

インポートの新規追加

操作「実行」ボタンをクリック

実行

インポートの新規追加

インポート種別

企業 + 事業所・部署

インポート名

インポート種別

データ形式

登録方法

読み込み開始位置

レポートメール送信先

設定者

データファイル(必須)

ファイルを選択

選択されていません

読み込

キャンセル

インポートの実行画面が表示されたら、**ファイルを選択** ボタンを押し、インポートを行うファイルを選択後、**読み込** ボタンをクリックします。

すると、インポート開始位置から 10 行分のサンプルデータをもとにプレビューが表示されます。

まだインポートは実行されていません。
以下の内容をご確認ください。

データファイル読取開始行から2件を表示

データベース項目	【企業データベース】企業名	【事業所・部署データベース】事業所・部署名
列番号	1	2
1	Rignite Inc.	サンフランシスコ
2	株式会社ラクス	東京本社

■エラー行があった場合の対処方法を選択してください。(必須)
☒ 読み込んだ行を全て登録・変更しない ☐ 成功した行は登録・更新するが、エラーになった行は登録・更新しない

この内容でインポートを行いますか？

インポート実行

インポート実行 をクリックし、インポートを実行してください。インポート状況確認画面へ移動します。

インポート状況の確認。インポート結果レポートファイルの取得などを行います。

再読込 2013/03/29 11:00:37 (読み込み時間)

◀ 最初 ◀ 前の14件 次の14件 ▶▶ 最後 ▶▶ (14件中 1 - 14件目) (全て) ▼

✓ [操作]	状況	インポート名 インポートファイル	イ.
■	インポート中	サンプルの設定 Book1.csv	企業 + 事業所・部署

再読込 をクリックし、インポートの状況が「完了」になったら、インポートの完了です。

✓ [操作]	状況
■	インポート中

✓ [操作]	状況
□ 削除	完了

以上でインポートは完了です。

2.1 エラー時の対応

インポートを行う CSV にエラーデータが存在した場合、インポートを行うことが出来ません。
そのため、エラーデータを修正し、再度インポートを行っていただく必要があります。
エラー箇所については、①プレビュー画面(開始行から 10 行目まで)と、②インポート状況の確認画面でエラー箇所について、調べることができます。

①プレビュー画面で表示

まだインポートは実行されていません。
以下の内容をご確認下さい。

データファイル読取開始行から2件を表示

データベース項目	【企業データベース】企業名	【企業データベース】ステータス	【事業所・部署データベース】事業所・部署名
列番号	1	2	3
1	Rignite Inc.	アクティブ	サンフランシスコ
2	株式会社ラクス	あくていぶ	東京本社

■エラー行があった場合の対処方法を選択してください。(必須)
☒ 読み込んだ行を全て登録・変更しない ☐ 成功した行は登録・更新するが、エラーになった行は登録・更新しない

エラー項目が存在します。
エラーアイコンにカーソルを合わせると、エラー情報が参照できます。
入力したデータ、またはインポート設定を修正して下さい。

エラーデータは背景が黄色表示されます。

※エラーデータが存在すると、“インポート実行” ボタンは表示されません。

マウスポインタを黄色に表示された箇所の上に移動させると、エラー情報が表示されます。内容を参考にデータを修正してください。

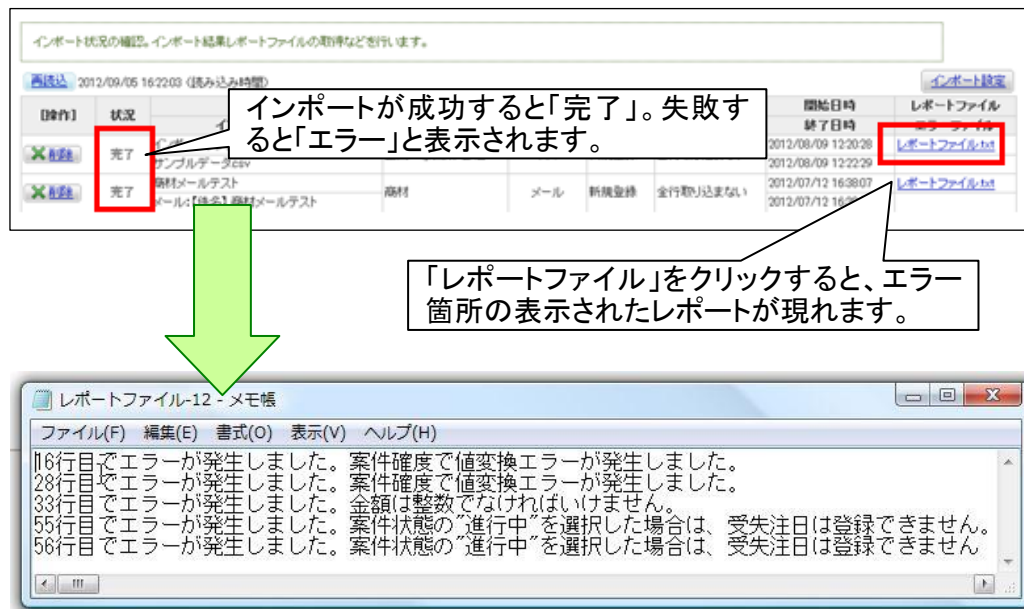
あくていぶ	東京本社
-------	------

エラー情報

ステータスで値変換エラーが発生しました。
した行は登録・更新する

② インポート状況の確認画面

実行したインポートにエラーデータが存在した場合、インポート状況の確認画面でエラーレポートが作成されます。



CSVデータのエラー箇所を確認、修正のうえ、再度インポートを実行してください。

3 インポート設定の詳細説明

3.1 B インポート種別について

インポート種別は、インポートを行いたいマスタを選択していただく場所となります。インポート種別の指定は新規追加時のみ指定ができ、**後で変更を行うことはできません**ので、ご注意ください。

以下の9パターンの種別を選択することが出来ます。

- ①【企業+事業所・部署】
- ②【企業+事業所・部署+顧客担当者】
- ③【企業+事業所・部署+案件】
- ④【企業+事業所・部署+顧客担当者+案件】
- ⑤【商材】
- ⑥【案件】
- ⑦【企業】
- ⑧【事業所・部署】
- ⑨【顧客担当者】

どこのデータベースへインポートを行うかを選択いただく必要があります。

3.2 C・データ形式

EasySales では「CSV データ」または「定形メール」からのインポートを行うことができます

※本マニュアルは「CSV データ」の場合の説明です。

※CSV形式（カンマ区切り）とは？

データをカンマ（“,”）で区切って並べたファイル形式です。

拡張子が、「.csv」のファイルを指します。

3.3 D・登録方法

インポートには以下の 3 つの方法があります。目的に応じてそれぞれの方法を選択して実行してください。※インポート設定の作成時にのみ指定できます。

① 新規登録

データをマスタに新規登録します。

② 更新のみ

用意した CSV ファイルで、マスタのデータを更新します。

③ 更新+新規登録

用意した CSV データでマスタのデータを更新し、更新キー（キー項目）が存在しない場合は新規データとして登録します。

3.4 E・読み込み開始位置

CSV データの読み込み開始位置です。1 行目からデータが始まっていれば「1」。2 行目からデータが始まっていれば「2」とご入力ください。

例：2 行目の場合

	A	B	C	
1	企業名	従業員数	資本金	ホーム
2	株式会社ラクス	211	149,850,000	http://
3	株式会社 EasySales	150	10,000,000	http://

上記のケースですと、1 行目は「企業」や「資本金」などの「項目」ですので、実データの開始位置は「2 行目」から、になります。

4項目ごとの特徴について

以下の項目はインポートデータを用意する際に、注意が必要となります。

◆リンク系の項目（例：企業リンク一件、顧客担当者複数、ユーザリンク一件 等）

リンク先の該当レコードのコード No. でデータを用意する必要があります。

例）案件のインポート時に案件担当者を指定する場合

案件名	主担当者	活動数	案件確度	案件状態	初回問合せ日	粗利益	利益率
アイティブースト案件	原 辰則	22件	B{0.4}	受注	2010/10/13	624,600円	45%
電波産業案件	山田太郎	13件	B{0.4}	進行中	2010/12/30	352,800円	28%
Iidaネットワーク案件	山田太郎	8件	S{1.0}	受注	2010/11/6	441,000円	45%
エスティティ案件	鈴木一郎	7件	A{0.8}	受注	2011/5/1	103,500円	45%

案件名	主担当者	活動数	案件確度	案件状態
アイティブースト案件	00001	22件	B{0.4}	受注
電波産業案件	10001	13件	B{0.4}	進行中
Iidaネットワーク案件	10001	8件	S{1.0}	受注
エスティティ案件	10002	7件	A{0.8}	受注

主担当者（ユーザ）の名前を Easy Sales に登録されているユーザコードに変更してインポートします。

◆選択肢一件

マスタに設定した選択肢以外のワードが存在すると、インポート時にエラーになります。

例）マスタに設定した選択肢 ： A、B、C、D、E

CSV データの選択肢 ： A、B、C、D、E

上記の例の場合、選択肢『C』の大文字小文字がマスタ設定と異なるため、読み込まれません。

◆チェックボックス項目

選択肢 1 件と同様にマスタに設定した選択肢以外のワードが存在すると、インポート時にエラーになります。また、複数の選択肢が存在する場合は、『,』半角カンマで区切ります。

◆計算項目

インポートすることができません。

4.1よくあるCSVデータのミスについて

◆電話番号

- ・ハイフンの有無の確認
- ・ハイフンがカッコになっている
- ・市外局番が無い
- ・数字が全角になっている

◆郵便番号

- ・ハイフンの有無の確認
- ・旧郵便番号の 5 ケタのままになっている
- ・数字が全角になっている

◆フリガナ

- ・仕様上、『・』『 - 』などの記号はカナとみなされませんので、ご注意ください。

◆住所

- ・都道府県の有無の確認
- ・番地表示の違い

例) ▲▲町 5-6-6 と▲▲町 5 丁目 6 番地 5 号は別ものとなり、
名寄せが行われません。

◆URL

- ・半角英数以外で入力されているとエラーになります。

5 便利機能のご紹介

5.1 CSV による列番号の入力機能

CSV による列番号の入力機能とは、CSV ファイルを EasySales に読み込ませて「CSV ファイルの列」と「インポートを行いたい項目」を関連づけ、列番号を自動でセットすることが出来る機能です。

◆使用方法

項目設定画面下部の [CSVによる列番号入力をする](#) をクリックしてください。下図の画面が表示されます。

CSVによる列番号入力	
データファイル(必須)	<input type="text"/> 参照...
列番号に使う記号	<input checked="" type="radio"/> 数字 <input type="radio"/> アルファベット
<div> 読込 キャンセル </div>	

【手順 A】

- ① [参照...](#) をクリックし、インポートを行いたい CSV を選択
- ② [列番号に使う記号] を数字、アルファベットのどちらかを選択
- ③ [読込](#) をクリック

手順 A が完了すると、下図画面が表示されます。

データファイル読取り開始行から10件を表示

列番号	1	2	3	4
1	企業名	従業員数	資本金	ホームページ
2	株式会社アイディーブート	152	149,850	http://www.easysales.jp/
3	株式会社飯田ネットワーク	165	16,500	http://www.easysales.jp/
4	有限会社Y&Aカンパニー	190	19,000	http://www.easysales.jp/
5	株式会社アールテック・シブヤ	383	25,500	http://www.easysales.jp/
6	山村年金サポート & サービス株式会社	1706	113,700	http://www.easysales.jp/
7	株式会社日本キカイ製作所	653	43,500	http://www.easysales.jp/
8	レアメタルインターナショナル株式会社	788	52,500	http://www.easysales.jp/
9	株式会社Centilooソリューションズ	859	85,900	http://www.easysales.jp/
10	株式会社Feeddogネットワーク	166	16,600	http://www.easysales.jp/

マスタ項目 ☐ 設定 ☐ 解除 ☐ 設定 ☐ 解除 ☐ 設定 ☐ 解除 ☐ 設定 ☐ 解除

！インポート項目設定を確定するまで、設定は保存されません。

【手順 B】

- ①表示された画面の「マスタ項目」にて をクリック
- ②マッピングするためのポップアップが表示されます。※下図

【選択済みデータベース項目】

【データベース項目】

- ③マスタ項目の中からインポートをさせたい項目を選択し、 をクリック
※下図

【選択済みマスタ項目】

【マスタ項目】

- ④ をクリックし、下図のようになります。

データベース項目

- ⑤インポートを行いたい項目のマッピングが完了しましたら

をクリック

- ⑥完了後、列番号がセットされているかどうかを確認し、 をクリックしてください。

列番号がセットされました。
！インポート項目設定を確定するまで、設定は保存されません。

項目名	項目タイプ	列番号
企業コード(必須)	テキスト(1行) (ビルトイン項目) <input type="checkbox"/>	※自動採番(代替キー)を使用しているので、指定できません。
企業名(必須)	テキスト(1行) (ビルトイン項目) <input type="checkbox"/>	<input type="text" value="1"/> 列目 ※インポート時に必須

列番号が入っているかを確認

5.2名寄せ機能について

Easy Sales へインポートを行う時、複数のマスタの組み合わせでインポートを行う際には （例：インポート種別が 「企業+事業所部署」 など）

企業＞事業所・部署＞案件 or 担当者

の順番に名寄せが行われます。

上位に位置する情報が全て同じ場合（企業+事業所部署の場合は企業が上位）に名寄せが行われ、上位マスタが1つにまとめられます。

例）企業情報が同じで、事業所・部署情報が異なる場合。

企業名	従業員	事業所・部署名	都道府県	所在地	電話番号
株式会社アイティーブースト	152人	経営管理本部	大阪府	大阪市都島区東野田町2-9-7	06-0000-0000
株式会社アイティーブースト	152人	システム部	東京都	新宿区西新宿7-7-28	03-0000-0001
株式会社アイティーブースト	152人	新規事業部	東京都	新宿区西新宿7-7-28	03-5338-4662
有限会社YKAカンパニー	190人	千葉支店	千葉県	千葉市若葉区愛生町84	075-996-4203



上記のようなリストは1つの企業に対して複数の部署を持つデータが存在するので、企業情報が以下のように「名寄せ」されてインポートされます。

操作	企業名	従業員数	事業所・部署名	都道府県	所在地	電話番号
<input type="checkbox"/>	株式会社アイティーブースト	152人	経営管理本部	大阪府	大阪市都島区東野田町2-9-7	06-0000-0000
<input type="checkbox"/>	株式会社アイティーブースト	152人	システム部	東京都	新宿区西新宿7-7-28	03-0000-0001
<input type="checkbox"/>	株式会社アイティーブースト	152人	新規事業部	東京都	新宿区西新宿7-7-28	03-5338-4662

※名寄せが行われるのは、上位マスタの全ての情報が同じ場合です。

上記の例で会社名が同じでも、従業員数が異なる場合は、別の企業と判別され名寄せが行われなくなります。

以上で完了です。